

# カクシン<sup>®</sup> 1キロ粒剤

- 種類名：イプフェンカルバゾン・ジメスルファゼット・テフリトリオン粒剤
- 有効成分：イプフェンカルバゾン-----2.5%  
ジメスルファゼット-----1.5%  
テフリトリオン-----2.5%
- 化管法指定物質：イプフェンカルバゾン [第1種]-----2.5%  
テフリトリオン [第1種]-----2.5%

- 登録番号：第24917号
- 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
- 登録初年：2024.11.13
- 性状：淡褐色～褐色細粒
- 有効年限：3年
- 包装：1kg×12袋、10kg×1袋

## 【特長】

- 一年生雑草から多年生広葉雑草、また ALS 剤抵抗性雑草やイボクサ等の特殊雑草まで幅広い水田雑草に有効な一発処理除草剤。
- 新規有効成分ジメスルファゼットを配合することによりホタルイ、クログワイ、コウキヤガラなどのカヤツリグサ科雑草に対して高い効果を発揮。
- 無人航空機による散布、田植同時散布機による施用が可能。

## 【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イプフェンカルバゾンを含む農薬の総使用回数	ジメスルファゼットを含む農薬の総使用回数	テフリトリオンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	2回以内	2回以内
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布又は無人航空機による散布			

## 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、オモダカはヘラ葉期まで、ミズガヤツリ、クログワイ、コウキヤガラは草丈10cmまでが本剤の散布適期である。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生の期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。
- 苗の植え付けが均一となるよう、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
- 散布に当たっては水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。自然減水により田面の一部が露出する間際になったら、水尻は止めたままにし、通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じること。また、入水は静かに行うこと。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
  - ◆ 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 粒剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整するとともに、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラ(スピナ)の回転数を低速に調整すること。
  - ◆ 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布すること。
  - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。

- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
  - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深 2cm/日以上）
  - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
  - ◆ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
  - ◆ 散布後に高温傾向が続くと予想される時
  - ◆ 稲の根が露出している水田
- 活着遅延が生じるような異常低温及び寡照条件下では、薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意すること。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- 著しい多雨条件では、除草効果が低下することがあるので使用をさけること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### 【安全使用上の注意】

- ❖ 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法：該当なし
- ❖ 使用者に際して講ずべき被害防止方法
  - 農薬使用者に係る被害防止方法
  - 防護装備
    - 〔薬剤調製者〕 移植水稻（田植同時散布機で施用）：不浸透性手袋
    - 〔散布者〕 移植水稻（田植同時散布機で施用）：不浸透性手袋
- ❖ 蜜蜂に係る被害防止方法：該当なし
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
  - 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
  - 散布後は水管理に注意すること。
  - 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。